

地域連携に関する取り組み紹介

チームこうか

2023年度
地域緩和ケア連携調整員研修 (ベーシックコース)

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
公立甲賀病院 泌尿器科	花田英紀(医師)
公立甲賀病院 地域医療連携部	瀬古睦(看護師)
公立甲賀病院 地域医療連携部	近藤ひろみ(看護師)

具体的にどのような地域を考えるか

甲賀保健医療圏

当院と地域との連携を密にしてスムーズに在宅医療へつなげていく地域づくり

公立甲賀病院 チームこうか

三方よし：患者よし、病院よし、地域よし

取り組むべき課題

地域連携として病院と地域と情報共有を十分していく

在宅医療へスムーズにつなげていく

現在、退院調整のためのカンファレンスが十分できていない実情があり、開業医の参加も少ない

取り組むべきこと

カンファレンスを積極的に開催する

必要な人にしっかりとした拡大カンファレンス（退院前のカンファレンス：医師、看護師、訪問看護師、ケアマネージャーなど）を行いリモートを利用しても情報共有する

必要なサービスを受けられる体制を整えていく

カンファレンスで情報共有することの重要性について認識していく環境づくり

病院の抱えている問題を地域の診療所にも知っていただく

行政にも働きかけていく

行動計画

院内

地域連携のスタッフに拡大カンファレンスを積極的にすすめていく意識改革

病院スタッフの意識改革

地域

開業医の先生にもカンファレンスの参加を働きかける（リモート参加を呼び掛ける）

⇒リモート参加の有無や可能時間などのデータ作成と共有

スムーズに在宅医療へつなげられるように行政へ働きかける

⇒介護保険申請の病院と行政のルール作り

実施時期

すぐに行えること

退院調整にかかわっているスタッフに拡大カンファレンスを進めていくように働きかけていく
地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟から拡大カンファレンスを重点的に進めていく

今年度

タイムリーにサービスが受けられるように行政に働きかけて、病院との介護申請のルールを作る

次年度

退院支援の記録から病棟が活用しやすい仕組みづくり フラグを立てる

地域連携の取り組みを院内で発表し意識付けをしていく

各病棟の担当者が集まる会議を活用し、ルールや課題の共有をする